

「都島区まちづくりビジョン2040（案）」パブリック・コメント手続により寄せられたご意見と都島区の考え方

ページ	項目	（要約）ご意見等	都島区の考え方
Chapter1 はじめに に対するご意見			
7ページ	2030年以降は減少傾向に転じる見込み	お向いさんも引っ越すらしい。道路のうるさに耐えきれないそう。騒音のせいで夜も眠れないと。私も同じ思いだ。いつ引っ越そうか考える日々。こうして区の人口が減っていく。市内でも、いわゆる繁華街ほど治安が悪くなさそうな地域だと考えて越してきたが、がっかり。 条例を作ってはどうか。走るのに必要ない、騒音を出してる車とかバイクには罰金とるというような（通報者への謝礼制度の検討も含む）。あと、車窓からのタバコ大量投げ捨てにも厳罰を課してほしい。道路が何本も通ってる町なんだから、もっと住民の生活を考えてほしい。 それと自転車レーン作ってほしい。子供を乗せていても安全に走れる道をもっと増やしてほしい。人口これ以上減らしたくなかったらマジメに考えてほしい。	都島区では、基礎自治行政を総合的に推進するため、区のめざすべき将来像、施策展開の方向性などをとりまとめた、「都島区将来ビジョン2030」（計画期間5年）に基づき、「安全・安心のまち」「人がつながり・いきいきと暮らせるまち」「子どもが輝くまち」「明日に誇れるまち」の実現に向けて取組を進めています。いただいたご意見については今後も引き続き、警察等と連携した防犯活動や交通マナーアップの啓発、環境美化の推進などに努めてまいります。
8ページ	まちづくりは車中心から人中心へ	自分は土佐堀通りに面した部屋に住んでいたが、もう引っ越す。 理由は明確で、騒音による強いストレスである。マフラーを改造したようなバイクや車が空ぶかしをし、昼も夜も毎日のように大きな音を立てるため、うんざりしている。二度と住みたくない。	都島区では、基礎自治行政を総合的に推進するため、区のめざすべき将来像、施策展開の方向性などをとりまとめた、「都島区将来ビジョン2030」（計画期間5年）に基づき、「安全・安心のまち」「人がつながり・いきいきと暮らせるまち」「子どもが輝くまち」「明日に誇れるまち」の実現に向けて取組を進めています。いただいたご意見については今後も引き続き、警察等と連携した防犯活動や交通マナーアップの啓発などに努めてまいります。
8ページ	まちづくりは車中心から人中心へ	大きな騒音を出す車やバイクをなくしてほしい。夜眠れない。	都島区では、基礎自治行政を総合的に推進するため、区のめざすべき将来像、施策展開の方向性などをとりまとめた、「都島区将来ビジョン2030」（計画期間5年）に基づき、「安全・安心のまち」「人がつながり・いきいきと暮らせるまち」「子どもが輝くまち」「明日に誇れるまち」の実現に向けて取組を進めています。いただいたご意見については今後も引き続き、警察等と連携した防犯活動や交通マナーアップの啓発などに努めてまいります。
8ページ	まちづくりは車中心から人中心へ	まちづくりは車中心から人中心へと本当にそう思っているなら、道路に過度な騒音を出す車とかバイクを走らせないでほしい。	都島区では、基礎自治行政を総合的に推進するため、区のめざすべき将来像、施策展開の方向性などをとりまとめた、「都島区将来ビジョン2030」（計画期間5年）に基づき、「安全・安心のまち」「人がつながり・いきいきと暮らせるまち」「子どもが輝くまち」「明日に誇れるまち」の実現に向けて取組を進めています。いただいたご意見については今後も引き続き、警察等と連携した防犯活動や交通マナーアップの啓発などに努めてまいります。
10ページ	人中心のまちづくり	人中心のまちづくりを語るなら、まず片町交差点の歩行者用信号の不公平さに注目してほしい。どう考えても車に有利なように時間配分がなされている。あと30秒歩行者が渡る時間を延ばしてほしい。 それと、ナンバープレートを故意に曲げた車とバイクをこのまちに侵入させないでほしい。	都島区では、基礎自治行政を総合的に推進するため、区のめざすべき将来像、施策展開の方向性などをとりまとめた、「都島区将来ビジョン2030」（計画期間5年）に基づき、「安全・安心のまち」「人がつながり・いきいきと暮らせるまち」「子どもが輝くまち」「明日に誇れるまち」の実現に向けて取組を進めています。いただいたご意見については今後も引き続き、警察等と連携した防犯活動や交通マナーアップの啓発などに努めてまいります。

「都島区まちづくりビジョン2040（案）」パブリック・コメント手続により寄せられたご意見と都島区の考え方

ページ	項目	（要約）ご意見等	都島区の考え方
Chapter2 都島区の「いま」に対するご意見			
27ページ	交通・モビリティ環境の改善	改造してわざとうるさくしたクルマとかバイクの人たちが都島に出入りしないようにしてほしい。	都島区では、基礎自治行政を総合的に推進するため、区のめざすべき将来像、施策展開の方向性などをとりまとめた、「都島区将来ビジョン2030」（計画期間 5 年）に基づき、「安全・安心のまち」「人がつながり・いきいきと暮らせるまち」「子どもが輝くまち」「明日に誇れるまち」の実現に向けて取組を進めています。いただいたご意見については今後も引き続き、警察等と連携した防犯活動や交通マナーアップの啓発などに努めてまいります。
27ページ	ー	民間の活力をまちづくり、特に都島区の地域の子育て支援に利活用するべき。活発に活動している地域福祉団体、ボランティア団体に資金面での支援を行うべきだと考える。	都島区まちづくりビジョン2040では、2040年に生み出したいまちの状況として、「自然と文化が根付き充実感に満ち暮らせるまち」「多様なプレイスで人がつながるまち」「共創やチャレンジが生まれるまち」を掲げています。区内まちづくりプラットフォーム「みやこじまFanプール」等を通じて、すでに活動されている民間や地域の取組とも連携しながら、みなさまと共に、描きたいまちのシーンを生み出す取組を進めてまいります。 また、都島区では、基礎自治行政を総合的に推進するため、区のめざすべき将来像、施策展開の方向性などをとりまとめた、「都島区将来ビジョン2030」（計画期間 5 年）に基づき、「安全・安心のまち」「人がつながり・いきいきと暮らせるまち」「子どもが輝くまち」「明日に誇れるまち」の実現に向けて取組を進めています。いただいたご意見については今後も引き続き、子育て相談体制の充実や子どもを支える環境の充実などに努めてまいります。

「都島区まちづくりビジョン2040（案）」パブリック・コメント手続により寄せられたご意見と都島区の考え方

ページ	項目	（要約）ご意見等	都島区の考え方
29ページ	京橋エリアについて	京橋・都島エリアは、JR片町線・東西線の地下化、京阪京橋駅前再開発など、2040年に向けて大きな都市構造の転換期を迎えている。しかし、地域の象徴となる「ランドマーク」が不足しており、来街者の回遊性・滞在性が十分に高まっていない。 提案するランドマーク案 (1)京橋スカイデッキ(仮)の整備 JR地下化後の線路跡地を活用した展望歩道橋、夜間ライトアップによる新たな夜景資源の創出、駅周辺の回遊性向上に寄与 (2)京橋アートタワー(仮)の設置 高さ30～50mのアート構造物、若手アーティストとの協働によるデザイン、京橋の象徴としての視認性向上 (3)京橋フードカルチャーセンター(仮)の整備 食の街・京橋のブランド強化、フードホール・イベントスペース・食文化展示、観光客・地域住民の交流拠点 (4)京橋ネオンストリート(仮)の整備 ネオンアート・LEDゲートによる夜間景観の向上、写真映えする観光資源としての活用、低コストで実現可能 期待される効果 京橋のブランド力向上、来街者の増加と商店街の活性化、夜間のにぎわい創出、地域の安全性・回遊性の向上、都市再開発との相乗効果 京橋は大阪の東の玄関口でありながら、象徴的なランドマークが不足している。2040年に向けた再開発のタイミングで、地域の顔となるランドマークを整備することは、京橋の未来にとって極めて重要である。	京橋駅周辺エリアは区内の交通の要衝として、今後大きな変貌を遂げることが想定されています。 都島区まちづくりビジョン2040では、2040年に生み出したいまちの状況として、「自然と文化が根付き充実感に満ち暮らせるまち」「多様なプレイスで人がつながるまち」「共創やチャレンジが生まれるまち」を掲げています。 いただいたご意見も踏まえて、区内まちづくりプラットフォーム「みやこじまFanプール」等を通じて、すでに活動されている民間や地域の取組や、関係各所と連携しながら、みなさまと共に、描きたいまちのシーンを生み出す取組を進めてまいります。

「都島区まちづくりビジョン2040（案）」パブリック・コメント手続により寄せられたご意見と都島区の考え方

ページ	項目	（要約）ご意見等	都島区の考え方
Chapter3 めざしたい都島区の2040年の姿 に対するご意見			
34ページ	暮らしの基盤の維持	ナンバープレートを曲げた車・バイクを通報した者に謝礼金を渡す条例つくってほしい。	都島区では、基礎自治行政を総合的に推進するため、区のめざすべき将来像、施策展開の方向性などをとりまとめた、「都島区将来ビジョン2030」（計画期間 5 年）に基づき、「安全・安心のまち」「人がつながり・いきいきと暮らせるまち」「子どもが輝くまち」「明日に誇れるまち」の実現に向けて取組を進めています。いただいたご意見については今後も引き続き、警察等と連携した防犯活動や交通マナーアップの啓発などに努めてまいります。
34ページ	暮らしの基盤の維持	タバコのポイ捨てした者を通報した者に謝礼金を渡す条例つくってほしい。	都島区では、基礎自治行政を総合的に推進するため、区のめざすべき将来像、施策展開の方向性などをとりまとめた、「都島区将来ビジョン2030」（計画期間 5 年）に基づき、「安全・安心のまち」「人がつながり・いきいきと暮らせるまち」「子どもが輝くまち」「明日に誇れるまち」の実現に向けて取組を進めています。いただいたご意見についても参考にしながら、今後も引き続き環境美化の推進などに努めてまいります。
35ページ	都島区のまちづくりで大切にしたい考え方	いくら川があって緑があるといっても、道路にはゴミなど散らかっていて、車が捨てて行ったタバコの吸いがらがそこかしこに散乱していて、公道を昼も夜もうるさいバイクが走り回っていたらクリエイティブが暮らしなんか思いもよらない。 きれいな言葉で理想を語ることはできるが、それだけでは状況は変わらない。冊子を作ってイメージを発信する前に、行政はやるべきことがあるだろう。	都島区では、基礎自治行政を総合的に推進するため、区のめざすべき将来像、施策展開の方向性などをとりまとめた、「都島区将来ビジョン2030」（計画期間 5 年）に基づき、「安全・安心のまち」「人がつながり・いきいきと暮らせるまち」「子どもが輝くまち」「明日に誇れるまち」の実現に向けて取組を進めています。いただいたご意見については今後も引き続き、警察等と連携した防犯活動や交通マナーアップの啓発、環境美化の推進などに努めてまいります。
35ページ	都島区のまちづくりで大切にしたい考え方	街からゴミをなくしてほしい。渋谷区やシンガポールみたいに捨てゴミをした人からは罰金を取って欲しい。また、過度な騒音や排気で周囲に迷惑をかけるバイクについては、厳正に取り締まり、改善を徹底してほしい。違法改造車についても同様である。行政には、暴走行為をする集団や反社会的勢力との不適切な関係がないことを、区民に証明してほしい。	都島区では、基礎自治行政を総合的に推進するため、区のめざすべき将来像、施策展開の方向性などをとりまとめた、「都島区将来ビジョン2030」（計画期間 5 年）に基づき、「安全・安心のまち」「人がつながり・いきいきと暮らせるまち」「子どもが輝くまち」「明日に誇れるまち」の実現に向けて取組を進めています。いただいたご意見については今後も引き続き、警察等と連携した防犯活動や交通マナーアップの啓発、環境美化の推進などに努めてまいります。
35ページ	都島区は空いている土地に建物を建てるなどの開発は概ね完了	都島区は空いている土地にマンションよく立てられるが、コンビニも多すぎると思う。一部の迷惑行為をする人々が集まりやすくなり、地域環境にとって好ましくないと感じる。これ以上コンビニを増やさないようにしてほしい。土地が空いた場合は、治安維持のために交番の設置を進めてほしい。民泊が多くあるため、地域の安全を保つ必要がある。また、コインパーキングも増えると困る。夜遅くに大きな騒音を出す車やバイクが入ってきて、眠っているところを音で起こされることがある。	都島区では、基礎自治行政を総合的に推進するため、区のめざすべき将来像、施策展開の方向性などをとりまとめた、「都島区将来ビジョン2030」（計画期間 5 年）に基づき、「安全・安心のまち」「人がつながり・いきいきと暮らせるまち」「子どもが輝くまち」「明日に誇れるまち」の実現に向けて取組を進めています。いただいたご意見については今後も引き続き、警察等と連携した防犯活動や交通マナーアップの啓発などに努めてまいります。

「都島区まちづくりビジョン2040（案）」パブリック・コメント手続により寄せられたご意見と都島区の考え方

ページ	項目	（要約）ご意見等	都島区の考え方
35ページ	ー	年間で10回程度の開催が多く、月に1回も実施できていない地域活動協議会の親子サロンは民間事業者に移管すべき。	都島区まちづくりビジョン2040では、2040年に生み出したいまちの状況として、「自然と文化が根付き充実感に満ち暮らせるまち」「多様なプレイスで人がつながるまち」「共創やチャレンジが生まれるまち」を掲げています。区内まちづくりプラットフォーム「みやこじまFanプール」等を通じて、すでに活動されている民間や地域の取組とも連携しながら、みなさまと共に、描きたいまちのシーンを生み出す取組を進めてまいります。 また、都島区では、基礎自治行政を総合的に推進するため、区のめざすべき将来像、施策展開の方向性などをとりまとめた、「都島区将来ビジョン2030」（計画期間5年）に基づき、「安全・安心のまち」「人がつながり・いきいきと暮らせるまち」「子どもが輝くまち」「明日に誇れるまち」の実現に向けて取組を進めています。いただいたご意見については今後も引き続き、子育て相談体制の充実や子どもを支える環境の充実などに努めてまいります。
35ページ	ー	こどもの居場所について大阪市の他区に比べて都島区はネットワークも構築されていない。もっと既存のこどもの居場所を運営展開しているところをしっかりと広報誌や都島区ウェブに掲載する必要がある。	都島区まちづくりビジョン2040では、2040年に生み出したいまちの状況として、「自然と文化が根付き充実感に満ち暮らせるまち」「多様なプレイスで人がつながるまち」「共創やチャレンジが生まれるまち」を掲げています。区内まちづくりプラットフォーム「みやこじまFanプール」等を通じて、すでに活動されている民間や地域の取組とも連携しながら、みなさまと共に、描きたいまちのシーンを生み出す取組を進めてまいります。 また、都島区では、基礎自治行政を総合的に推進するため、区のめざすべき将来像、施策展開の方向性などをとりまとめた、「都島区将来ビジョン2030」（計画期間5年）に基づき、「安全・安心のまち」「人がつながり・いきいきと暮らせるまち」「子どもが輝くまち」「明日に誇れるまち」の実現に向けて取組を進めています。いただいたご意見については今後も引き続き、多角的な広報の推進などに努めてまいります。
36ページ	会いたいと思える人にすぐ会えるまち	外国人…マナーの良い観光客は問題ないが、ニュースなどで事件が報じられることもある一部の集団を見ると不安になることがある。集団で自転車走っていたり、ゴミのポイ捨てや交通ルール違反のように見える行為があると、気になる。 暴走行為をするバイクおよびそれに類する車両を使う個人…騒音などの公害だと感じる。近隣住民への影響は大きく、不眠やストレス、聴覚への負担など、健康被害が懸念される。 風俗の宣伝車…子どもと散歩しているときに遭遇すると、子どもにどう説明すべきか困る。 大きな騒音を出して走る改造車…これも公害だと感じる。生活への影響が大きく、場合によっては損害賠償を考えたくなるほどである。こうした騒音車両や危険運転のバイクは、区内での走行を抑止してほしい。	都島区では、基礎自治行政を総合的に推進するため、区のめざすべき将来像、施策展開の方向性などをとりまとめた、「都島区将来ビジョン2030」（計画期間5年）に基づき、「安全・安心のまち」「人がつながり・いきいきと暮らせるまち」「子どもが輝くまち」「明日に誇れるまち」の実現に向けて取組を進めています。いただいたご意見については今後も引き続き、警察等と連携した防犯活動や交通マナーアップの啓発、環境美化の推進などに努めてまいります。
37ページ	2040年に生み出したいまちの状況	心地よく過ごせるまちをめざします」と書いてあるが、そのようなまちとなるためには「自然と文化」による充実もさることながら、何よりも「安心安全」こそ必須条件だと思う。都島区内に複数通る幹線道路を昼夜問わず違法改造車両や過度な騒音を出すバイクが横行している現状は「心地よく過ごせるまち」とは程遠い。苦情を訴えても役所→警察→役所…とタライ回しされる。あげくには「あなたが政治家になれば良い」と断ぜられる始末。こんな状態にいくら「自然と文化」を提供されたところで何の意味もない。 2040年までに、「夜くらはい安眠できる安心、安全なまち」を実現してほしい。区内、いえ、市内から違法改造車両の騒音被害を消滅し尽してほしい。	都島区では、基礎自治行政を総合的に推進するため、区のめざすべき将来像、施策展開の方向性などをとりまとめた、「都島区将来ビジョン2030」（計画期間5年）に基づき、「安全・安心のまち」「人がつながり・いきいきと暮らせるまち」「子どもが輝くまち」「明日に誇れるまち」の実現に向けて取組を進めています。いただいたご意見については今後も引き続き、警察等と連携した防犯活動や交通マナーアップの啓発などに努めてまいります。

「都島区まちづくりビジョン2040（案）」パブリック・コメント手続により寄せられたご意見と都島区の考え方

ページ	項目	（要約）ご意見等	都島区の考え方
37ページ	2040年に生み出したいまちの状況	「心地よく過ごせるまち」をつくるというなら、「自然と文化」もさることながら、まず第一に「安全、安心、夜はぐっすり眠れる」を提供してほしい。 都島区の道路は危険な走行や過度な騒音を出す車やバイクが集まるサーキット場ではない。「迷惑走行をする集団を居させない、入らせないまち」を実現してほしい。	都島区では、基礎自治行政を総合的に推進するため、区のめざすべき将来像、施策展開の方向性などをとりまとめた、「都島区将来ビジョン2030」（計画期間5年）に基づき、「安全・安心のまち」「人がつながり・いきいきと暮らせるまち」「子どもが輝くまち」「明日に誇れるまち」の実現に向けて取組を進めています。いただいたご意見については今後も引き続き、警察等と連携した防犯活動や交通マナーアップの啓発などに努めてまいります。
38ページ	心地よく過ごせるまちをめざします	残念ながら現在の都島区は心地よく過ごせるまちとは程遠い。特に幹線道路を走る違法改造車とバイクの多さ。出くわすと非常に気分が悪い。だから私はほとんど散歩にも行かない。魅力的な町をめざしたいのなら、まずは治安を改善してほしい。	都島区では、基礎自治行政を総合的に推進するため、区のめざすべき将来像、施策展開の方向性などをとりまとめた、「都島区将来ビジョン2030」（計画期間5年）に基づき、「安全・安心のまち」「人がつながり・いきいきと暮らせるまち」「子どもが輝くまち」「明日に誇れるまち」の実現に向けて取組を進めています。いただいたご意見については今後も引き続き、警察等と連携した防犯活動や交通マナーアップの啓発などに努めてまいります。
41ページ	子育てがしやすく、子どもが安心して楽しめる	近年の地球温暖化（熱中症警戒アラート）の頻発により、子供たちが地域の公園へ外遊びに行けない日が激増している。今後も激増すると考えている。 解決策として、自社ビル3階ウッドデッキに遮熱対策をして多世代共生DIYパークを作り、自社の技術力を使って高校の生徒が課題研究として民間企業×学生×保育園でコラボして、未来の子供たちの為ニ公園を作れないかと考えている。 現在、都島区に住んで20年になり、都島区の企業に勤め15年になった。 現在は都島の地域の方と提携し色々な取り組みをしている中、都島区まちづくりビジョンを知り、機会があればお手伝いさせて頂けることがないかと思いい意見を送らせてもらった。	都島区まちづくりビジョン2040では、2040年に生み出したいまちの状況として、「自然と文化が根付き充実感に満ち暮らせるまち」「多様なプレイスで人がつながるまち」「共創やチャレンジが生まれるまち」を掲げています。区内まちづくりプラットホーム「みやこじまFanプール」等を通じて、すでに活動されている民間や地域の取組とも連携しながら、みなさまと共に、描きたいまちのシーンを生み出す取組を進めてまいります。
41ページ	子育てがしやすく、子どもが安心して楽しめる	家の近くの公園について感じること 私にも孫が出来、ひさしぶりに公園へ遊びに行くと、雑草が元気にのびすぎて、子供たちがすぐく、遊びにくそうに感じる。 落葉などは、地域の方や市の職員さんで掃除をしていただいているが、もっと根本の方からやってもらえると良いと思う。 これは、機械でないと、出来ないと思うので願います。	都島区では、基礎自治行政を総合的に推進するため、区のめざすべき将来像、施策展開の方向性などをとりまとめた、「都島区将来ビジョン2030」（計画期間5年）に基づき、「安全・安心のまち」「人がつながり・いきいきと暮らせるまち」「子どもが輝くまち」「明日に誇れるまち」の実現に向けて取組を進めています。いただいたご意見については今後も引き続き、環境美化の推進などに努めてまいります。
41ページ	子育てがしやすく、子どもが安心して楽しめる	家の前の道をひんぱんに過度な騒音を出すバイクや車が行き来する。夜、騒音で子どもが起きて泣く。子どもの泣き声で近所からも文句とか苦情をいわれる。	都島区では、基礎自治行政を総合的に推進するため、区のめざすべき将来像、施策展開の方向性などをとりまとめた、「都島区将来ビジョン2030」（計画期間5年）に基づき、「安全・安心のまち」「人がつながり・いきいきと暮らせるまち」「子どもが輝くまち」「明日に誇れるまち」の実現に向けて取組を進めています。いただいたご意見については今後も引き続き、警察等と連携した防犯活動や交通マナーアップの啓発などに努めてまいります。
41ページ	子育てがしやすく、子どもが安心して楽しめる	小さい子どもはたくさん眠る。成長のため、必要だ。大きな音を出して走るバイク・車の音で私の子どもはいつも起こされる。そして泣く。 日本人のマナーは世界一だったはず。周囲への配慮のない運転をする人の大阪での運転を抑止してほしい。	都島区では、基礎自治行政を総合的に推進するため、区のめざすべき将来像、施策展開の方向性などをとりまとめた、「都島区将来ビジョン2030」（計画期間5年）に基づき、「安全・安心のまち」「人がつながり・いきいきと暮らせるまち」「子どもが輝くまち」「明日に誇れるまち」の実現に向けて取組を進めています。いただいたご意見については今後も引き続き、警察等と連携した防犯活動や交通マナーアップの啓発などに努めてまいります。

「都島区まちづくりビジョン2040（案）」パブリック・コメント手続により寄せられたご意見と都島区の考え方

ページ	項目	（要約）ご意見等	都島区の考え方
41ページ	－	こどもと大人の居場所やコミュニティカフェ、映画の上映会はすでに取り組んでいる団体や場所は都島区にあるので維持管理や企画の運営に行政の支援をお願いする。	都島区まちづくりビジョン2040では、2040年に生み出したいまちの状況として、「自然と文化が根付き充実感に満ち暮らせるまち」「多様なプレイスで人がつながるまち」「共創やチャレンジが生まれるまち」を掲げています。区内まちづくりプラットフォーム「みやこじまFanプール」等を通じて、すでに活動されている民間や地域の取組とも連携しながら、みなさまと共に、描きたいまちのシーンを生み出す取組を進めてまいります。
41ページ	－	高倉町で子育て応援の親子サロンが月曜日に実施されている。助産師さんの産後相談や栄養士さんの離乳食相談、歯科衛生士さんの乳幼児口腔ケアとメニューは豊富でとても助かる。 このような素晴らしい取り組みをほぼボランティアで実施されている。参加費用も保険代や手作りおもちゃ製作実費程度。 こういう地域の実情に合わせて子育て支援に取り組んでいる活動には都島区として運営の必要経費は支援してあげてほしい。 実施場所も明るくゆったりとしたスペースで、のびのび遊べるおもちゃもたくさん常備されている。空調も効いて快適な空間。出入口はフルフラットでオープンなつくり。駐輪場も敷地内屋内に完備されていてベビーカーでも楽々である。中庭もあってチョークでお絵描きや暑い時期は水遊びもできて安心安全なこどもの遊び場になっていて、こんな良い場所があるのは知らなかったとママたちにも高評価されている。	都島区まちづくりビジョン2040では、2040年に生み出したいまちの状況として、「自然と文化が根付き充実感に満ち暮らせるまち」「多様なプレイスで人がつながるまち」「共創やチャレンジが生まれるまち」を掲げています。区内まちづくりプラットフォーム「みやこじまFanプール」等を通じて、すでに活動されている民間や地域の取組とも連携しながら、みなさまと共に、描きたいまちのシーンを生み出す取組を進めてまいります。 また、都島区では、基礎自治行政を総合的に推進するため、区のめざすべき将来像、施策展開の方向性などをとりまとめた、「都島区将来ビジョン2030」（計画期間5年）に基づき、「安全・安心のまち」「人がつながり・いきいきと暮らせるまち」「子どもが輝くまち」「明日に誇れるまち」の実現に向けて取組を進めています。いただいたご意見については今後も引き続き、子育て相談体制の充実や子どもを支える環境の充実などに努めてまいります。
42ページ	－	都島区に世代や性別、属性を超えて集まった人々がゆるやかにつながれる場所が有ればと思う。そこに来れば顔見知りができるかわいもないおしゃべりができる。誰かを気遣って誰かの役に立ちたい人が居たりする。ちょっとしたイベントや講座、教室があってそれがきっかけになってまた来たいと思う。そしてお話しできるようになったり、ちょっと相談できるようになったり。そんな地域のほっと一息、ふらっと立ち寄れる居場所を開設していただきたい。	都島区まちづくりビジョン2040では、2040年に生み出したいまちの状況として、「自然と文化が根付き充実感に満ち暮らせるまち」「多様なプレイスで人がつながるまち」「共創やチャレンジが生まれるまち」を掲げています。区内まちづくりプラットフォーム「みやこじまFanプール」等を通じて、すでに活動されている民間や地域のみなさまの取組とも連携しながら、みなさまと共に、描きたいまちのシーンを生み出す取組を進めてまいります。
Chapter4 ビジョン実現に向けたアプローチ に対するご意見			
44ページ	－	子育てについては保育無償化や支援金制度があるが年金生活者およびその予備軍のシニア世代については公的支援が無い。少子化もあり公金を投入するには公平性が担保されるべきと考える。 年金生活者やその予備軍のシニア世代が気軽に利用できる地域の大人の居場所づくりにも予算を振り向けるべきだと考える。 都島区内には常設で運営されている居場所づくりをすでに実施されている民間の施設や運営している団体もいくつか見受けられる。 地域活動協議会の取り組みは月に一回程度で1時間くらいしかオープンしていない。利用者は少なく、閉鎖的な雰囲気に参加しづらい。 シニア世代、高齢者が気軽に立ち寄りおしゃべりしたり映画を観たり音楽を聴いたりして交流できる大人の居場所を常設で開設して欲しい。健康体操や講座を聴けたら嬉しい。	都島区まちづくりビジョン2040では、2040年に生み出したいまちの状況として、「自然と文化が根付き充実感に満ち暮らせるまち」「多様なプレイスで人がつながるまち」「共創やチャレンジが生まれるまち」を掲げています。区内まちづくりプラットフォーム「みやこじまFanプール」等を通じて、すでに活動されている民間や地域の取組とも連携しながら、みなさまと共に、描きたいまちのシーンを生み出す取組を進めてまいります。 また、都島区では、基礎自治行政を総合的に推進するため、区のめざすべき将来像、施策展開の方向性などをとりまとめた、「都島区将来ビジョン2030」（計画期間5年）に基づき、「安全・安心のまち」「人がつながり・いきいきと暮らせるまち」「子どもが輝くまち」「明日に誇れるまち」の実現に向けて取組を進めています。いただいたご意見については今後も引き続き、地域コミュニティの推進、福祉相談の充実や見守り体制の強化などに努めてまいります。

「都島区まちづくりビジョン2040（案）」パブリック・コメント手続により寄せられたご意見と都島区の考え方

ページ	項目	（要約）ご意見等	都島区の考え方
44ページ	－	地域コミュニティ活動の支援拠点を創設する仕組みを整えていただきたい。 地域の近隣にお住まいで子育て奮闘中の世代の方とこどもたち、年上の高齢者世代の方、同じ年ごろの友人たち話すと、こんなこと・あんなことあればいいなあ、参加してみたいということは多種多岐にわたるが、問題は地域でそのような場所・施設が少ないこと、あっても営利目的のところは費用も高くなり尻込みしてしまうという声も多数ある。 そこで地域の枠を取り除き、子育て支援・親子サロンやこどもの居場所、シニア世代の介護予防講座、障がい児親のおしゃべり会、発達相談会・ピアサポート、心身をリフレッシュする身体を動かす場、外出のハードルが高い多胎児の遊び場、楽器が練習できる場、放課後クラブなどなど、同じ状況や目的を共有する地域住民がつながり集える場があると地域の社会課題・福祉課題の緩和・解消、ポジティブな方向へ地域全体がすすむ。 またそういった場所＝プレイスが地域にあればそこを借りていろんなことをやってみたい、教えたい、相談にのります、なにか役に立ちたいという方も大勢おられる。 都島区にはそうしたさまざまな世代が集うコミュニティプレイス・第三の居場所づくりを月に1回などの低頻度ではなく日常定期的に継続して開設、実績を上げているところも存在している。 またそういういろんな活動を取り組める十分な広さや設備を備えている、ポテンシャルを秘めた場所も存在している。 そういった地域コミュニティ活動の支援拠点の運営はボランティア活動では継続しないので運営に係る必要な経費を都島区行政から支援していただきたいと考える。 すでに民間の活力・創意工夫・篤い意志をもって運営され実績をあげている施設や団体からスタートし、まずはパイロット事業として始めていただきたいと思い意見させていただいた。	都島区まちづくりビジョン2040では、2040年に生み出したいまちの状況として、「自然と文化が根付き充実感に満ち暮らせるまち」「多様なプレイスで人がつながるまち」「共創やチャレンジが生まれるまち」を掲げています。区内まちづくりプラットフォーム「みやこじまFanプール」等を通じて、すでに活動されている民間や地域の取組とも連携しながら、みなさまと共に、描きたいまちのシーンを生み出す取組を進めてまいります。 また、都島区では、基礎自治行政を総合的に推進するため、区のめざすべき将来像、施策展開の方向性などをとりまとめた、「都島区将来ビジョン2030」（計画期間5年）に基づき、「安全・安心のまち」「人がつながり・いきいきと暮らせるまち」「子どもが輝くまち」「明日に誇れるまち」の実現に向けて取組を進めています。いただいたご意見については今後も引き続き、地域コミュニティの推進、福祉相談の充実や見守り体制の強化、子育て相談体制の充実や子どもを支える環境の充実などに努めてまいります。
44ページ	－	少子化と保育園無償化で0歳から2歳児対象の子育て広場は利用者が減って委託事業の運営費や家賃補助は費用対効果が薄い。 子育て広場はたいいてい時間は9時から5時間、週に5日しか開設していないので現実の子育てしている立場からは使えない。土日祝日も開設するべき。 大阪市から家賃補助ももらい運営しているのだから子育て広場は午後から夜間、小学生対象の放課後クラブや学習支援も実施するべき。	都島区では、基礎自治行政を総合的に推進するため、区のめざすべき将来像、施策展開の方向性などをとりまとめた、「都島区将来ビジョン2030」（計画期間5年）に基づき、「安全・安心のまち」「人がつながり・いきいきと暮らせるまち」「子どもが輝くまち」「明日に誇れるまち」の実現に向けて取組を進めています。いただいたご意見については今後も引き続き、子育て相談体制の充実や子どもを支える環境の充実などに努めてまいります。
44～47ページ	－	こどもや大人も集える身近な地域にサードプレイス・第三の居場所を創設していただきたい。 都島区にはそうした居場所づくりを民間の活力・工夫・熱意をもって運営されこれまでに実績を上げているところも存在している。 こういう取り組みは「ボランティア精神におんぶにだっこ」では決して継続しない。運営に係る必要な経費を都島区行政から支援していただきたい。 できるところ、できる場所、すでに活発に活動し実績をあげているところからスタートアップしモデル事業として始めて全区に広げていっていただきたい。	都島区まちづくりビジョン2040では、2040年に生み出したいまちの状況として、「自然と文化が根付き充実感に満ち暮らせるまち」「多様なプレイスで人がつながるまち」「共創やチャレンジが生まれるまち」を掲げています。区内まちづくりプラットフォーム「みやこじまFanプール」等を通じて、すでに活動されている民間や地域の取組とも連携しながら、みなさまと共に、描きたいまちのシーンを生み出す取組を進めてまいります。
45ページ	－	こども食堂と子どもの居場所は似ているようではあるが違うので区分けして紹介するべき。	都島区では、基礎自治行政を総合的に推進するため、区のめざすべき将来像、施策展開の方向性などをとりまとめた、「都島区将来ビジョン2030」（計画期間5年）に基づき、「安全・安心のまち」「人がつながり・いきいきと暮らせるまち」「子どもが輝くまち」「明日に誇れるまち」の実現に向けて取組を進めています。いただいたご意見については今後も引き続き、多角的な広報の推進などに努めてまいります。

「都島区まちづくりビジョン2040（案）」パブリック・コメント手続により寄せられたご意見と都島区の考え方

ページ	項目	（要約）ご意見等	都島区の考え方
45ページ	－	地域のこどもや大人までいろんな世代が集える場所があれば良いのだが、月に1回、しかも1時間ほどの開催にとどまっている地域活動協議会の福祉カフェ的な取り組みでは、十分な役割を果たしているとはいいがたい。もっと意欲的に実施されているところを区の広報誌で取り上げるべき。もっと地域の実情を丹念に取材するべき。	都島区では、基礎自治行政を総合的に推進するため、区のめざすべき将来像、施策展開の方向性などをとりまとめた、「都島区将来ビジョン2030」（計画期間 5 年）に基づき、「安全・安心のまち」「人がつながり・いきいきと暮らせるまち」「子どもが輝くまち」「明日に誇れるまち」の実現に向けて取組を進めています。いただいたご意見については今後も引き続き、多角的な広報の推進などに努めてまいります。
45ページ	－	区政会議に子育て、まちづくり、福祉分野の各部会を設置して広く各分野で実際に活動している方からの意見を聴いて施策に反映させて欲しい。	都島区まちづくりビジョン2040では、区民や民間事業者等の様々な区内のまちづくりの主体が、相互に連携したり、情報やアイデアの共有をしたりできる場として、区内まちづくりプラットフォーム「みやこじまFanプール」を構築することとしています。 また、都島区では、基礎自治行政を総合的に推進するため、区のめざすべき将来像、施策展開の方向性などをとりまとめた、「都島区将来ビジョン2030」（計画期間 5 年）に基づき、「安全・安心のまち」「人がつながり・いきいきと暮らせるまち」「子どもが輝くまち」「明日に誇れるまち」の実現に向けて取組を進めています。いただいたご意見については今後も引き続き、区民の意見やニーズの把握などに努めてまいります。
－	区政会議について	公募以外のメンバーのほとんどが地域活動協議会からの推薦で選ばれている。いまや活動停滞し形式的になっている面もある地域活動協議会からの推薦で選ばれる方のみでは、多様で建設的な意見を十分に集めにくい可能性がある。 実績のある団体の運営総括管理者や代表者を呼んで地域の状況にあった意見を聴き集約していただきたい。	都島区まちづくりビジョン2040では、区民や民間事業者等の様々な区内のまちづくりの主体が、相互に連携したり、情報やアイデアの共有をしたりできる場として、区内まちづくりプラットフォーム「みやこじまFanプール」を構築することとしています。 また、都島区では、区内の基礎自治行政を総合的に推進していく上で、地域としての区のめざすべき将来像、その実現に向けた施策展開の方向性などをとりまとめた、「都島区将来ビジョン2030」（計画期間 5 年）に基づき、「安全・安心のまち」「人がつながり・いきいきと暮らせるまち」「子どもが輝くまち」「明日に誇れるまち」の実現に向けて取組を進めています。いただいたご意見については今後も引き続き、区民の意見やニーズの把握などに努めてまいります。
46ページ	スタートアップ支援について	都島区において地域の社会課題の解消につながるような地域密着型の「地域活動支援拠点」の創設を切望する。 いまや形骸化している地域活動協議会等よりも民間の活力でより活発で実績も上げている既存の施設や団体によって運営されているところに運営を委託してはどうか。運営にかかる必要経費を行政から支援してしっかりと活動を支えていけば、子育て世帯の孤立、ひとり親家庭の負担増加、高齢者の地域孤立、地域コミュニティの希薄化などの社会課題の解消に繋がる。 こうした地域に開かれた「居場所」となる交流拠点を活用し、「人と人が自然につながる環境」を地域の中に増やしていくことが必要であるとする。	都島区まちづくりビジョン2040では、2040年に生み出したいまちの状況として、「自然と文化が根付き充実感に満ち暮らせるまち」「多様なプレイスで人がつながるまち」「共創やチャレンジが生まれるまち」を掲げています。区内まちづくりプラットフォーム「みやこじまFanプール」等を通じて、すでに活動されている民間や地域の取組とも連携しながら、みなさまと共に、描きたいまちのシーンを生み出す取組を進めてまいります。 また、都島区では、基礎自治行政を総合的に推進するため、区のめざすべき将来像、施策展開の方向性などをとりまとめた、「都島区将来ビジョン2030」（計画期間 5 年）に基づき、「安全・安心のまち」「人がつながり・いきいきと暮らせるまち」「子どもが輝くまち」「明日に誇れるまち」の実現に向けて取組を進めています。いただいたご意見については今後も引き続き、地域コミュニティの推進、福祉相談の充実や見守り体制の強化、子育て相談体制の充実や子どもを支える環境の充実などに努めてまいります。
46ページ	－	身近な地域、近所に学校や家庭、仕事場以外の第三の居場所サードプレイスでいろんな講座イベントがあれば参加してみたい。そこでヨガや健康体操、映画上映会、英会話教室など手軽な参加費で利用できたらうれしい。都島区で地域の居場所づくりの活動に対して運営費の補助支援をお願いしたい。	都島区まちづくりビジョン2040では、2040年に生み出したいまちの状況として、「自然と文化が根付き充実感に満ち暮らせるまち」「多様なプレイスで人がつながるまち」「共創やチャレンジが生まれるまち」を掲げています。区内まちづくりプラットフォーム「みやこじまFanプール」等を通じて、すでに活動されている民間や地域の取組とも連携しながら、みなさまと共に、描きたいまちのシーンを生み出す取組を進めてまいります。

「都島区まちづくりビジョン2040（案）」パブリック・コメント手続により寄せられたご意見と都島区の考え方

ページ	項目	（要約）ご意見等	都島区の考え方
47ページ	ー	外部のまちづくりの専門家よりも地元で有意義な活動に取り組んでいる団体に話しを聴いて施策に反映させる方が良い。	都島区まちづくりビジョン2040では、区民や民間事業者等の様々な区内のまちづくりの主体が、相互に連携したり、情報やアイデアの共有をしたりできる場として、区内まちづくりプラットフォーム「みやこじまFanプール」を構築することとしています。 また、都島区では、基礎自治行政を総合的に推進するため、区のめざすべき将来像、施策展開の方向性などをとりまとめた、「都島区将来ビジョン2030」（計画期間5年）に基づき、「安全・安心のまち」「人がつながり・いきいきと暮らせるまち」「子どもが輝くまち」「明日に誇れるまち」の実現に向けて取組を進めています。いただいたご意見については今後も引き続き、区民の意見やニーズの把握などに努めてまいります。
49ページ	Green Oasis Miyakojima in 京橋	京橋の町を歩いてみたことはあるか。 吐いたツバ。捨てられたタバコ。京橋駅周辺は私が最も歩きたくないエリアである。そこで、首都にならって大阪市でも、道路への捨てゴミに罰則をもうけてはいかがか。通報者にはマイナポイント進呈とする。それで少しは京橋もGreenOasisに近づけるのではないか？	都島区では、区内の基礎自治行政を総合的に推進していく上で、地域としての区のめざすべき将来像、その実現に向けた施策展開の方向性などをとりまとめた、「都島区将来ビジョン2030」（計画期間5年）に基づき、「安全・安心のまち」「人がつながり・いきいきと暮らせるまち」「子どもが輝くまち」「明日に誇れるまち」の実現に向けて取組を進めています。いただいたご意見については今後も引き続き、環境美化の推進などに努めてまいります。
ー	意見	多世代交流型のコミュニティプレイス＝居場所を地域社会の装置として設計してはどうか。 制度の前段階である小さなSOSは「相談窓口」ではほとんど拾うことはできない。なので待つのではなくて地域の中に入り込み日常の中で自然とこぼれてくる声を拾う仕組みを作る。 その手段は福祉色をあえて消した「コミュニティプレイス」というカタチである。 常設の施設で運営し、ここでは遊びや楽しいことを通して人々がふらっと来てポロっとこぼした声を拾い必要な支援に繋げていく。 居場所は目的ではなく社会の中に埋め込まれた「感知装置」であり、福祉だけだと人は来ない、楽しさだけでは拾えないので両方そろって初めて機能する。 ふらっと来てポロっとこぼした声を拾いそれをさまざまな専門職が曜日や時間帯ごとに対応して支援制度や相談に繋げていくことができる。 その運営維持には行政側からの必要経費の支援と広報についても協力が必要である。都島区内には多世代交流型コミュニティプレイスとしての取り組みを実践されてきてすでに実績を上げておられる施設やボランティア団体さんがおられる。 またさまざまな専門職で専門知識・資格等のリソースをお持ちで地域のために役に立ちたいと考えておられる方も多数おられる。 そうした「マンパワー」と「プレイス＝場所」といった地域資源をうまく融合させて地域の社会課題の解消に役立つ「多世代交流型のコミュニティプレイス」の創設をぜひご検討いただきたい。	都島区まちづくりビジョン2040では、2040年に生み出したいまちの状況として、「自然と文化が根付き充実感に満ち暮らせるまち」「多様なプレイスで人がつながるまち」「共創やチャレンジが生まれるまち」を掲げています。区内まちづくりプラットフォーム「みやこじまFanプール」等を通じて、すでに活動されている民間や地域の取組とも連携しながら、みなさまと共に、描きたいまちのシーンを生み出す取組を進めてまいります。 また、都島区では、基礎自治行政を総合的に推進するため、区のめざすべき将来像、施策展開の方向性などをとりまとめた、「都島区将来ビジョン2030」（計画期間5年）に基づき、「安全・安心のまち」「人がつながり・いきいきと暮らせるまち」「子どもが輝くまち」「明日に誇れるまち」の実現に向けて取組を進めています。いただいたご意見については今後も引き続き、地域コミュニティの推進、福祉相談の充実や見守り体制の強化、子育て相談体制の充実や子どもを支える環境の充実などに引き続き努めてまいります。

「都島区まちづくりビジョン2040（案）」パブリック・コメント手続により寄せられたご意見と都島区の考え方

ページ	項目	（要約）ご意見等	都島区の考え方
ー	意見書	大阪市都島区においては、児童発達支援、産前産後ケア、一時預かり、放課後児童クラブ、地域子育て支援拠点事業、学習支援事業など、子どもと家庭を支える多様な制度が整備されている。また、こどもの居場所、こども食堂なども区内に数か所存在している。 しかしながら、それぞれが別制度・別事業として運営されているため、支援が分断されやすく、妊娠期、産前産後、入園前後、就学前後、さらには小中学生期へと連続した支援につながりにくいという課題がある。 特に、育児不安、孤立、発達課題、経済的困窮など複数の課題を抱える家庭ほど、「必要な支援にたどり着けない」「制度ごとに相談先が異なる」「支援の切り替わり時に途切れてしまう」といった状況が生じている。 現在の制度は個別には重要である一方、利用者目線では“縦割り”となっており、包括的な子育て支援として十分に機能しているとは言い難い現状がある。 そのため、都島区においては、地域に既に存在する民間のコミュニティ施設、子育て支援団体等のうち活発に活動し実績のある地域資源となる施設団体を積極的に活用し、民間活力を導入することで、妊娠期から就学前・学童期までを一体的に支える「切れ目のない子育て支援」の仕組みを構築すべきと考える。 例えば、一つの地域拠点において、産前産後ケア、親子交流、子育て支援、一時預かり、発達相談、学習支援、子どもの居場所、小中学生放課後クラブ活動、多世代交流事業などを柔軟に連携させることができれば、保護者が継続して安心して子育てや相談できる環境、地域のさまざまな世代が集える場が生まれる。 また、行政だけでは対応しきれない地域課題に対しても、地域密着型の民間団体や NPO 等が持つ機動力や現場力を活かすことで、より利用者に寄り添った支援が可能になる。 さらに、既存の民間施設を有効活用することで、新たな大規模施設整備に比べて財政負担を抑えながら、地域ごとの実情に応じた支援展開が可能となる。 少子化対策が求められる今だからこそ、「施設単位」「制度単位」の支援ではなく、「子どもと家庭を中心に据えた包括的支援体制」への転換が必要である。 都島区において、地域の活動拠点として実績のある既存施設・地域資源と民間活力を活かし、行政・地域住民・ボランティア団体、法人事業者が連携したモデル事業を「できる地域から先ず始めること」を積極的に検討し、妊娠期から学齢期まで切れ目なくつながる地域包括型子育て支援体制の構築を進めていただくことを強く要望する。	都島区まちづくりビジョン2040では、2040年に生み出したいまちの状況として、「自然と文化が根付き充実感に満ち暮らせるまち」「多様なプレイスで人がつながるまち」「共創やチャレンジが生まれるまち」を掲げています。区内まちづくりプラットフォーム「みやこじまFanプール」等を通じて、すでに活動されている民間や地域の取組とも連携しながら、みなさまと共に、描きたいまちのシーンを生み出す取組を進めてまいります。 また、都島区では、基礎自治行政を総合的に推進するため、区のめざすべき将来像、施策展開の方向性などをとりまとめた、「都島区将来ビジョン2030」（計画期間5年）に基づき、「安全・安心のまち」「人がつながり・いきいきと暮らせるまち」「子どもが輝くまち」「明日に誇れるまち」の実現に向けて取組を進めています。いただいたご意見については今後も引き続き、地域コミュニティの推進、子育て相談体制の充実や子どもを支える環境の充実などに努めてまいります。

「都島区まちづくりビジョン2040（案）」パブリック・コメント手続により寄せられたご意見と都島区の考え方

ページ	項目	（要約）ご意見等	都島区の考え方
－	意見	都島区は「まちづくりビジョン2040」(案)で区民の幸福度の向上や暮らしやすさのアップデート、つながりと連携を感じられる地域社会づくりをめざすとある。 そこで新たな施設整備ではなく、現在地域に存在しているコミュニティ資源を積極的に活用し、子育て支援のみならず高齢者福祉、多世代交流や地域社会への参加推進に繋げていく視点が重要であると考えます。 都島区には地域活動協議会以外にも区内各地に地域のさまざまな分野の社会課題・福祉問題について活動している民間のボランティア団体が存在し、事業所・法人・施設を利用して多種多様なソーシャルグッドな事業の展開に取り組んでいる。その中でも住民からのニーズが多数ある、公益性の高い、特定の政治信条や宗教と関係のない、営利目的ではなく勧誘もしない取り組みを精査し、活発・意欲的に取り組み、実績を上げている団体等の取り組み・活動にたいしてインセンティブ、その活動に係る運営費用、施設利用料、人件費など必須経費を補助助成し支援していくのはいかがか。 すでに大阪市の委託事業で運営費用が支払われ家賃補助も受けている「地域子育て支援事業」、「一時預かり事業」「ファミリーサポーター事業」、国からの給付金が支払われている障がい児の児童発達支援・放課後等デイサービス、同様に障がい者の支援施設等の事業者が実施するものについては二重に補助等を受けることになるので公平性の観点から除いたらいかがか。 国や大阪府、大阪市等の自治体からすでに補助金・助成金を受けている事業も除外すべき。 新たな施設の建設設置整備や制度を設計するよりも効率的である。 都島区が大阪市の他の区に先駆けて地域資源・民間の活力を活かしたモデル事業として取り組まれることを切に要望する。	都島区まちづくりビジョン2040では、2040年に生み出したいまちの状況として、「自然と文化が根付き充実感に満ち暮らせるまち」「多様なプレイスで人がつながるまち」「共創やチャレンジが生まれるまち」を掲げています。区内まちづくりプラットフォーム「みやこじまFanプール」等を通じて、すでに活動されている民間や地域のみなさまの取組とも連携しながら、みなさまと共に、描きたいまちのシーンを生み出す取組を進めてまいります。 また、都島区では、基礎自治行政を総合的に推進するため、区のめざすべき将来像、施策展開の方向性などをとりまとめた、「都島区将来ビジョン2030」（計画期間 5 年）に基づき、「安全・安心のまち」「人がつながり・いきいきと暮らせるまち」「子どもが輝くまち」「明日に誇れるまち」の実現に向けて、地域コミュニティの推進、福祉相談の充実や見守り体制の強化、子育て相談体制の充実や子どもを支える環境の充実などに引き続き努めてまいります。